

北村 行伸 KITAMURA, Yukinobu

現 一橋大学 経済研究所教授 (1956 年生まれ)



1981 年 慶應義塾大学経済学部卒業

1982 年 米国ペンシルバニア大学大学院修士課程修了

1988 年 英国オックスフォード大学大学院博士課程修了

1989 年 同大学院 D.Phil. : 博士 (経済学) 取得

1987.1-1988.11 英国オックスフォード大学研究助手、1988.12-1991.8 経済協力開発機構 (OECD) パリ事務局事務官、1991.9-現在 日本銀行金融研究所研究員、1992.4-1998.3 一橋大学経済研究所非常勤講師、1996.4-1999.3 慶應義塾大学大学院商学研究科客員助教授、1999.4-2002.10 一橋大学経済研究所助教授、1999.4-2002.10 慶應義塾大学大学院商学研究科特任助教授、2002.11-2020.3 一橋大学経済研究所教授、2002.11-現在 慶應義塾大学大学院商学研究科特任教授、2015.4-2017.3 一橋大学経済研究所所長、2017.10-2018.3 京都大学経済研究所客員教授。2020.4.1- 立正大学経済学部教授、2020.4.1- 一橋大学経済研究所名誉教授 (アンダーラインは現職)

また、現在、内閣府 経済社会総合研究所「経済分析」編集委員及び編集評議員 (2005.7-)、総務省 統計委員会委員 (2011.10-)、日本学術会議 日本学術会議会員 (第1部) (2014.10-)、日本学術会議 経済学委員会委員長 (2017.10-)、総務省 統計委員会委員長 (2019.10-) などの要職を兼務している。

専門分野 : 応用計量経済学、マクロ経済学、金融・財政論、公共経済学

主な著書等

『パネルデータ分析』岩波書店 (2005)、『ミクロ計量経済学入門』日本評論社 (2009)、『応用ミクロ計量経済学』日本評論社 (2010)、『金融業と人口オーナス経済 高齢化社会における金融・経済のあり方』(共著) 日本評論社 (2011)、『税制改革のミクロ実証分析 - 家計経済からみた所得税・消費税』(共著) 岩波書店 (2013)、『応用ミクロ計量経済学 II』日本評論社 (2014) などの他、翻訳も多数。

論文には“Lessons from Generational Accounting in Japan” *American Economic Review*, 1999, 89(2), pp. 171-175 (Noriyuki Takayama との共著)、“Decomposition of Redistributive Effects of Japanese Personal Income Tax, 1984-2009” *FinanzArchiv/ Public Finance Analysis*, 2016, 72, pp.334-368. (Takeshi Miyazaki との共著)、「世代間資産移転と相続税」『経済研究』一橋大学経済研究所編、2018年、69(3)、pp.67-82 など多数。